取扱説明書

ナバホボッド クロールファスト C71CF0

(JP) フォールアレストハーネス、ワークポジショニングベルト、シットハーネス、クロール付ロープアクセスハーネス
(EN) Fall arrest harness, work positioning belt, seat harness. Rope access harness with integrated CROLL.
(FR) Harnais antichute, ceinture de maintien, harnais cuissard. Harnais d'accès sur corde avec bloqueur CROLL intégré.
(DE) Auffanggurt, Haltegurt zur Arbeitsplatzpositionierung, Sitzgurt. Gurt für Seilzugangstechniken mit integrierter Seilklemme CROLL.
(IT) Imbracatura anticaduta, cintura di posizionamento sul lavoro, imbracatura bassa. Imbracatura per l'accesso su funi con bloccante CROLL integrato.

CE 0197

EN 361 : 2002
EN 358 : 2000
EN 813 : 1997
EN 12841 : 2006

3年保証
特許取得済み

警告

この製品を使用する高所作業には危険が伴います。
作業中の行為、判断についてはユーザー各自がその責任を負うこととします。
この製品は、高所作業に伴う危険について理解し、承知の上で使用してください。

使用する前に必ず：
- 取扱説明書をよく読み、理解してください
- この製品の機能と限界について理解してください
- この製品を正しく使用するための適切な説明や指導を受けてください

これらの注意事項を無視または軽視すると、重度の傷害や死につながる場合があります。

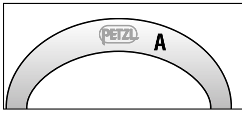
シンボルマーク

(JP) 取扱説明書をよくお読みください
(EN) Carefully read the instructions for use
(FR) Lire attentivement les instructions d'utilisation
(DE) Gebrauchsanweisung aufmerksam lesen
(IT) Leggere attentamente queste istruzioni

(JP) アンカー
(EN) Anchor
(FR) Amarrage
(DE) Anschlagpunkt
(IT) Ancoraggio

(JP) ハーネス
(EN) Harness
(FR) Harnais
(DE) Gurt
(IT) Imbracatura

(JP) 重量 / 荷重
(EN) Load
(FR) Charge
(DE) Belastung
(IT) Carico



(JP) フォールアレストアタッチメントポイント EN 361
(EN) Fall-arrest attachment point EN 361
(FR) Anneau anti-chute EN 361
(DE) Aufhängeöse EN 361
(IT) Anello anticaduto EN 361

	A	B	C	重量
Size 1 S→L	70≤A≤120 cm	50≤B≤65 cm	160≤C≤180 cm	1890 g
Size 2 L→XXL	80≤A≤140 cm	60≤B≤75 cm	175≤C≤200 cm	2000 g

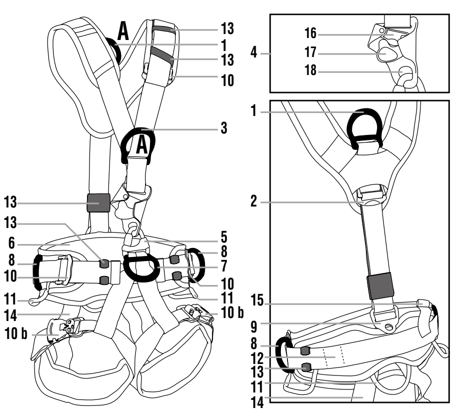
www.petzl.com → Latest version / Other languages
www.alteria.co.jp → 最新版 / 日本語

PETZL
ZI Cidex 105A
38920 Crolles
France
www.petzl.com/contact

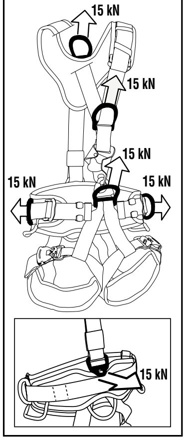
ISO 9001
Copyright Petzl

A

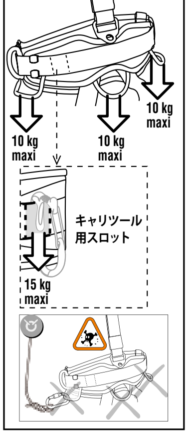
各部の名称



各アタッチメントポイントの破断強度

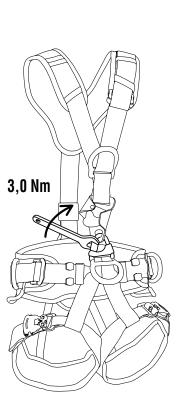


ギアループの最大許容荷重



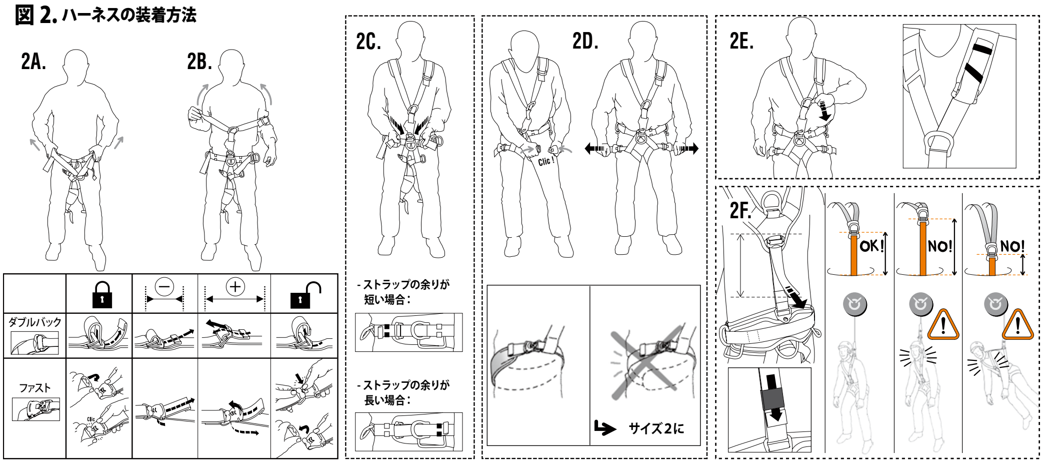
B

図 1. 反転防止機能付コネクター



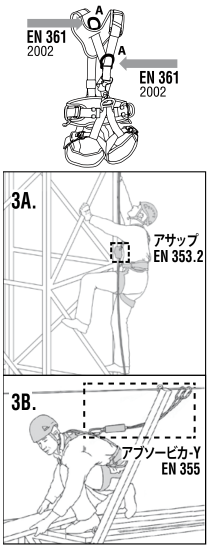
C

図 2. ハーネスの装着方法



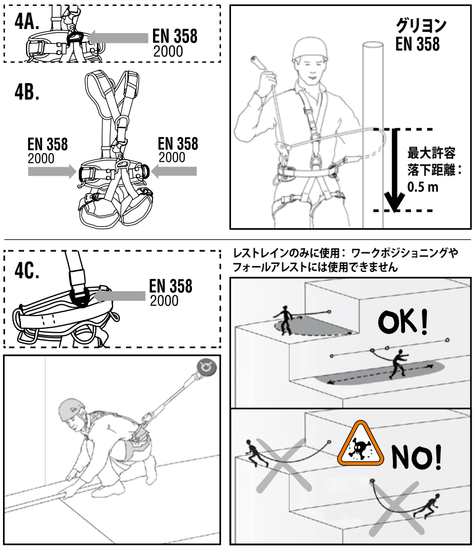
D

図 3. フォールアレストハーネス（EN 361 2002 適合）



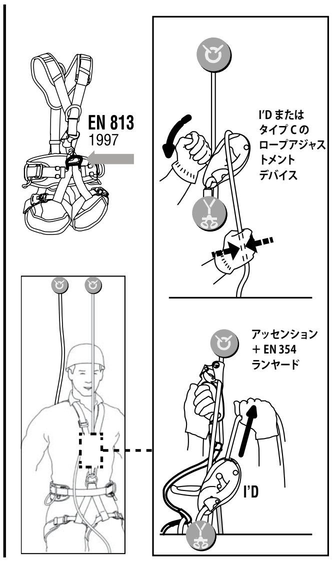
E

図 4. ワークポジショニング / レストレイン用ハーネス（EN 358 2000 適合）



F

図 5. シットハーネス（EN 813 1997 適合）



F

腹部ロープクランプ『クロール』EN 12841：2006

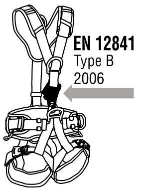
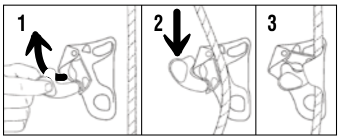


図 6. ロープのセット方法



ロープの取り外し方法

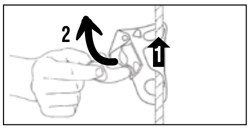
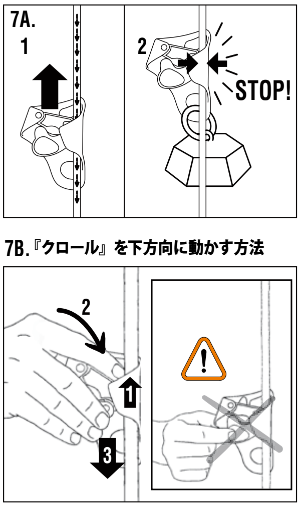
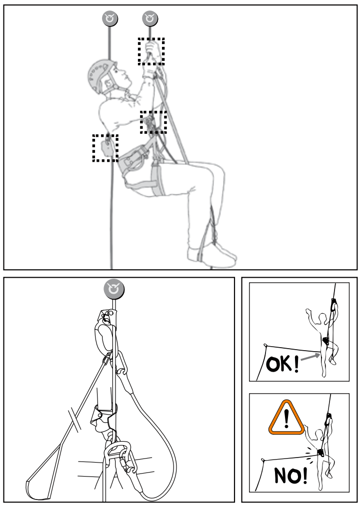


図 7.『クロール』の機能とその他の注意点



G

図 8. ロープ登高



使用方法

A

図に示された使用方法の中で、×印やドクロマークが付いていないものだけが認められています。 最新の取扱説明書はウェブサイト (www.alteria.co.jp) で参照できますので、定期的に確認してください。
疑問点や不明な点は(株)アルテリア(TEL04-2969-1717)にご相談ください。

用途について

フォールアレストハーネス、ワークポジショニングベルト、シットハーネス『クロール』付ロープアクセスハーネス

製品に表示された破断強度以上の荷重をかける使用や、本来の用途以外での使用は絶対に避けてください。

警告

この製品を使用する高所での活動には危険が伴います。
ユーザー各自が自身の行為、判断についてその責任を負うこととします。

使用する前に必ず:
- 取扱説明書をよく読み、理解してください
- この製品を正しく使用するための適切な指導を受けてください
- この製品の機能とその限界について理解してください
- 高所での活動に伴う危険について理解してください

これらの注意事項を無視または軽視すると、重度の障害や死につながる場合があります。

責任

警告: 使用前に適切なトレーニングが必要です。
この製品は使用方法を熟知していて責任能力のある人、あるいはそれらの人から目の届く範囲で直接指導を受けられる人のみ使用して下さい。 ユーザーは各自の責任で適切な技術及び確保技術を習得する必要があります。
ペツル製品の誤った方法での使用中及び使用後に生ずるいかなる損害、傷害、死亡に関してもユーザー各自がそのリスクと責任を負うこととします。
各自で責任がとれない場合や、その立場にない場合はこの製品を使用しないで下さい。

各部の名称

ハーネス

- チェストハーネス:
(1) EN 361 背部アタッチメントポイント
(2) 背部アタッチメントポイント調節バックル
(3) EN 361 胸部アタッチメントポイント
(4) EN 12841 ロープクランプ『クロール』
(5) 反転防止機能付コネクター

- シットハーネス:
(6) ベルト　(7) EN 358 EN 813 腹部アタッチメントポイント
(8) EN 358 側部アタッチメントポイント
(9) チェストハーネスを連結するためのバックル / EN 358 レストレイン用アタッチメントポイント
(10) ダブルバックバックル　(10b) ファストバックル　(11) ギアループ
(12) キャリツール取付用スロット　(13) ストラップリテイナー
(14) エラスティックストラップ　(15) マーキングラベル

腹部ロープクランプ『クロール』
(16) カム　(17) セーフティキャッチ　(18) 下部ホール

主な素材

ハーネス『ナバホ ボッド ファスト』: ポリエステル、スチール (調節バックル)、アルミニウム合金 (アタッチメントポイント)
腹部ロープクランプ『クロール』: アルミニウム合金 (本体)、クロムメッキスチール (カム)、ポリアミド (セーフティキャッチ)

点検のポイント

毎回、使用前に

ハーネス

ウェビングのアタッチメントポイント部分、調節バックル部分、および縫製部分を点検して下さい。
ウェビングに切れ目がないこと、使用による、または熱や化学製品との接触による磨耗や損傷がないことを確認してください。特に縫製部分にほつれがないか注意して点検してください。
ダブルバックバックル、ファストバックルが正常に機能することを確認して下さい。

反転防止機能付コネクター

毎回、使用前に必ず点検してください。
スクリューゲートがしっかりと締まっていることを確認してください (ネジ山が見えないようにしてください)。3 Nm のトルクで締まっていることを確認してください。

腹部ロープクランプ『クロール』

毎回、使用前に、本体、アタッチメントホール、カム及びセーフティキャッチに亀裂、傷、変形、磨耗、腐食等がないことを確認し、カムのスプリングと軸の状態を点検してください。 カムの歯が磨り減っていないことを確認してください。
警告: カムの歯が欠けている場合は使用しないでください。

使用中の注意点

製品の状態を常に確認してください。 他の用具との連結部や、システムを構成する各用具が正しくセットされていることを確認してください。
各 PPE(個人保護用具) の点検方法の詳細についてはペツルのウェブサイト (www.petzl.com/ppe) もしくは PETZL PPE CD-ROM を参照ください。
もしこの器具の状態に関する疑問があれば、(株) アルテリア (TEL: 04-2969-1717) にご相談ください。
強度の低下や、機能の異常が見られる製品は使用を止めてください。

B

図 1. 反転防止機能付コネクター

シットハーネスのベルトと、チェストハーネスの前部を連結するためのコネクターです。 このコネクターは常に 3 Nm のトルクで締められていなければなりません (手で解除できないようにするため)。
ランヤードやエネルギーアブソーバーを取り付けることはできません。

C

図 2. ハーネスの装着方法

レッグループのファストバックルを解除します。
2A. ショルダーストラップを両側に開いてハーネスのベルトを持ち、両足を通してください。
2B. ショルダーストラップを肩にかけて下さい。
2C. ベルトストラ ップを引いてウエストサイズを調節します。 ストラップの端は、ねじれがないようにして、ストラップリテイナーにしまってください。
- ストラップの余りが短い場合: 調節バックルの前方のリテイナーを使用してください。
- ストラップの余りが長い場合: 側部アタッチメントポイントを通して、その後方のリテイナーにしまってください。

2D. ファストバックルを閉め、レッグループを調節します。 ファストバックルの機能を妨げる可能性があるため、小石、小枝、ウェビング等が挟まらないように注意してください。 ファストバックルが正しくロックされていることを確認して下さい。
2E. ショルダーストラップを調節してください。 余分なストラップはストラップリテイナーにしまってください。

2F. 背部アタッチメントポイント位置の調節

初めて使用する際に調節してください。そうすることにより以後調節する必要がなくなります。 別の人に手伝ってもらうことにより、調節が容易になります。 余分なストラップはリテイナーに収納してください。
作業の邪魔にならないようにするため、余分なストラップはしっかりと伸ばし、弛みがない状態にしてストラップリテイナーで留めてください。
体型にあわせて背部アタッチメントポイントの位置を調節してください。 肩甲骨の位置と同じ高さになるように調節してください。 背部アタッチメントポイントの位置が低すぎると、吊り下がった際、前方に必要以上に傾きます。また、高すぎると締め付け感が強くなります。

調節とテスト

墜落の際に怪我をする危険を低減するため、ハーネスは体にぴったりとフィットするよう調節してください。
ハーネスが正しくフィットし、使用目的に見合う快適性が得られることを必ず確認してください。ハーネスを装着した状態で動いたり、装備を全て装着した状態で各アタッチメントポイントから吊り下がり、適切に調節されているかテストをしてください。

D

フォールアレスト

図 3. フォールアレスト ハーネス (EN 361 2002 適合)

墜落を止めるためのフルボディハーネス。 EN 363 が定めるフォールアレストシステムを構成する用具の1つです。 必ず EN 795 に適合したアンカー、EN 362 に適合したロッキングコネクター、EN 355 に適合したエネルギーアブソーバーと併用してください。

3A. 胸部アタッチメントポイント

3B. 背部アタッチメントポイント

フォールアレストシステム (例:モバイルフォールアレスター、エネルギーアブソーバー、その他 EN 363 で定められているシステム) に連結する場合は必ず胸部または背部のアタッチメントポイントを使用してください。 区別しやすくするため、これらのアタッチメントポイントには「**A**」の文字が刻印されています。

クリアランス: ユーザーの下の障害物のない空間

墜落した場合に途中で障害物にあたることを回避するため、ユーザーの下には必ず十分なクリアランスを確保してください。
必要なクリアランスを算出する方法は、フォールアレストシステムを構成するその他の器具 (エネルギーアブソーバー、モバイルフォールアレスター等) の取扱説明書に記載されています。

E

ワークポジショニングとレストレイン

図 4. ワークポジショニング / レストレイン用ハーネス (EN 358 2000 適合)

これらのアタッチメントポイントは、吊り下がった状態で体を支え作業位置で停止する(ワークポジショニング)、または墜落の可能性がある場所にユーザーが侵入できないよう行動範囲を制限する (レストレイン) ために使用します。　落下距離が 0.5m を超えないレストレインまたはワークポジショニングにのみ使用できます。
これらのアタッチメントポイントは墜落を止める目的では使用できません。
墜落の可能性がある場合は、ワークポジショニングやレストレインに加え、共同の確保システム (セーフティネット等) や個人用フォールアレストシステム (例:EN 363 に準じたフォールアレストシステム) をセットする必要があります。

4A. 腹部アタッチメントポイント

4B. 側部アタッチメントポイント

両側部のアタッチメントポイントは、必ずワークポジショニングランヤードで連結して使用してください。
快適なポジショニングをとるには、足場が必要となります。
支点がユーザーの腰の位置より高くなるようにワークポジショニングランヤードを調節してください。 常にランヤードにテンションをかけた状態で使用し、0.5m を超える落下をしないようにしてください。

4C. レストレイン用アタッチメントポイント

このアタッチメントポイントは、レストレインシステムを連結する目的にのみ使用できます。
レストレインやワークポジショニングで使用するランヤードは、作業中も常に適切な長さに調節されていることを確認してください。

F

ロープアクセス

図 5. シットハーネス (EN 813 1997 適合)

腹部アタッチメントポイント

EN 813 1997 は、ワークポジショニングやレストレイン、ロープアクセス等低い位置のアタッチメントポイントが必要な場合に使用するシットハーネスに関する基準です。
腹部アタッチメントポイントは、下降器やワークポジショニングランヤード、移動用ランヤードの接続に使用します。
フォールアレストシステムとの連結には使用しないでください。

腹部ロープクランプ『クロール』

EN 12841: 2006

用途について

EN 12841 2006 に適合した『クロール』はタイプ B のロープクランプで、作業ロープの登高に使用します。
注意: 必ずバックアップロープにセットした、モバイルフォールアレスター『アサップ』等のバックアップ器具と併用してください。
腹部ロープクランプ『クロール』は、EN 363 に準じたフォールアレストシステムでの使用には適していません。

ロープの直径

EN 1891 タイプ A に適合した直径 8 ～ 13mm のセミスタティックロープを使用してください。

図 6. ロープのセット方法

親指と人差し指でセーフティキャッチを下に引き、外側に開いてください。
セーフティキャッチを本体部分にひっかけます。 これでカムが開いた状態でロックされます。
ロープを挿入します。 セーフティキャッチをロック状態から解除し、カムがロープを押さえていることを確認してください。
セーフティキャッチは不意にカムが解除されるのを防ぎます。

ロープの取り外し方法

器具を上にスライドさせながら、セーフティーキャッチをまず下側に、それから外側に引いてください。

図 7.『クロール』の機能とその他の注意点

7A. ロープ登高

『クロール』は、作業ロープやアクセスロープを登るために使用する器具です。
ロープ上を上方向にはスライドしますが、下方向に荷重がかかるとロープをロックして止まります。
歯の付いたカムがロープをロックし、器具が下方向へは動かないようにします。 カムには、ロープについた泥等によるつまりを防ぐためのスロットがあります。

7B.『クロール』を下方向に動かす方法 (例外的な状況で使用)

『クロール』を少し上に動かすと同時に、人差し指でカムを押し、ロープの外皮から歯を外してください。セーフティキャッチは操作しないでください。
不意にカムを解除してしまう危険があります。

作動点検

毎回、使用前に、ロープが正しく取り付けられていること、器具が正しく作動することを確認してください。確認作業は必ずセルフビレイをとった状態で行ってください。
『クロール』を上にスライドさせ、スムーズに動くことを確認してください。
また、下に引いて、器具がロープをロックすることを確認してください。

注意点

-『クロール』のカムは、使用していないときは必ず閉じてください。カムを開いたままにしていると、その他の器具等が挟まる危険があります。
- **注意:** カムの動きを妨げるようなものが、器具に挟まらないようにしてください (小石、泥、雑草、スリング、衣服、塗料等)。
- 衣服やウェビング等が、セーフティキャッチに引っかからないようにしてください。
-『クロール』と吊元との間のロープは常にたるみがない状態でなければなりません。 ユーザーは常に吊元よりも低い位置で作業をしてください。
- ロープによる衝撃吸収:

墜落が起こった際に衝撃を吸収するのはロープです。 ロープの衝撃吸収力は吊元に近づくにつれて下がり、最終的にゼロになります。
- とがった角やざらざらした壁面など、ロープを傷つける可能性のあるものとロープが接触しないようにしてください。
-『クロール』が、ロープにセットされた状態でスムーズに動くことを確認してください。 動きを妨げるものがないよう注意してください (例:ロープの結び目、磨耗した箇所等)。
- ロープの末端にストッパーノットを結ぶことを忘れないでください。

図 8. ロープ登高

- 作業ロープ:『クロール』と、フットループを取り付けたハンドル付ロープクランプ (『アッセンション』等) を使用します。 必ずハーネスとハンドル付ロープクランプをランヤードで連結してください。
- バックアップロープ: モバイルフォールアレスター『アサップ』等のバックアップ器具を使用してください。

G

適合性: アタッチメントポイント / コネクター

適していない用具に連結した場合、コネクターが偶発的に外れる、壊れる、または併用する用具の安全機能を損なうといった危険性があります。
警告: ハーネスのアタッチメントポイントは、コネクターのゲートにてこの作用を起こす可能性があります。
コネクターの位置が不適切で、突然ロープにテンションがかかったり、コネクターのゲートに衝撃が加わった場合、ロッキングシステムが壊れ、ゲートが開いてしまう可能性があります。
このような危険を低減するために、システム (ランヤード、ディッセンダー等) にテンションがかかる度にコネクターが正しい位置にあることを確認してください。
また、使用しているコネクターがハーネスのアタッチメントポイントに適していることを確認してください (形、サイズ等)。不適切な向きや位置になりやすいコネクターは使用しないでください。

留意点:

安全のため、システム、特にコネクターには常にバックアップをとるよう習慣付けてください。 ワークポジショニングシステムとは別に、バックアップ用のシステムをセットして下さい。

EN 365: 警告

適合性

この製品がお手持ちの用具と併用できることを確認してください。それぞれの製品の取扱説明書を読んで下さい。
警告: 複数の器具を同時に使用する場合、 1つの器具の安全性が、別の器具の使用によって損なわれることがあります。
もしこの製品の適合性に関して疑問点があれば (株) アルテリアにご相談ください。

支点: 高所作業

システム用の支点はユーザーの体より上にとるようにしてください。支点は、最低でも 10 kN の破断強度を持ち、EN 795 基準を満たしていなければなりません。

レスキュープラン

- ユーザーは、この製品の使用中に問題が生じた際にすみやかに対処できるよう、レスキュープランとそれに必要となる装備をあらかじめ用意しておく必要があります。 このため、ユーザーは必要となるレスキュー技術を習得しておく必要があります。

コネクター

- コネクターは必ずゲートがロックされた状態で使用してください。 ゲートを指で押し、ロックされていることを確認してください。

コネクターは、それぞれ付属の取扱説明書に従って点検してください。

その他

警告、危険: この製品を、ざらざらした箇所や尖った箇所にこすりつけないようにしてください。
- ユーザーは、高所での活動が行える良好な健康状態にあることが必要です。 **警告:** 動きの取れない状態のまま吊り下げられると、ハーネスを着用していても重度の傷害や死に至る危険性があります。
- 製品に記載されたマーキングが、使用期間中識別できる状態にあるよう注意してください。
- この製品を使用する作業方法が、地域の行政機関が定める規則や基準に適合していることを確認してください。
- 併用するすべての用具の取扱説明書もよく読み、理解してください。
- 取扱説明書は、製品と一緒にユーザーの手に届かなければなりません。 この製品を販売する場合、販売者はその国の言語に訳された取扱説明書を添付しなければなりません。

一般注意事項

耐用年数

注意: 以下にあげるような極めて異例な状況においては、 1回の使用で損傷が生じ、その後使用不可能になる場合があります: 化学薬品との接触、鋭利な角との接触、極端な高 / 低温下での使用や保管、大きな墜落や過荷重等。
ペツル製品の耐用年数は以下の通りです: プラスチック製品、繊維製品は最長で製造日から 10 年。 金属製品には特に設けていません。
ただし、下に記された " 廃棄基準 " の内一つ以上に該当する場合や、技術や基準の進歩を反映した新しい器具との併用に適さないと判断される場合は直ちに廃棄してください。
実際の耐用年数は様々な要因によって決まります。例: 製品を使用する環境、使用の頻度、状況、ユーザーの能力、保存やメンテナンスの状況等

製品に損傷や劣化がないか定期的に点検してください。

安全のため、使用前、使用中の点検に加え、専門家による綿密な点検を少なくとも 12 ヶ月ごとに行う必要があります。 綿密な点検は少なくとも 12 ヶ月ごとに行う必要がありますが、必要な頻度は、使用の頻度と程度、目的により異なります。 また、各 PPE ユーザーが用具の使用履歴を把握できるようにするため、各ユーザーが専用の用具を持ち、未使用の状態から管理することをお勧めします。 用具をよりよく管理するため、製品ごとに点検記録をとることをお勧めします。 点検記録に含める内容: 用具の種類、モデル、製造者または販売元の名前と連絡先、製造番号、識別番号、製造年、購入日、初めて使用した時の日付、ユーザー名、その他の関連情報 (例:メンテナンス、使用頻度、定期点検の履歴、点検日、コメント、点検者の名前と署名、次回点検予定日) 詳しい点検記録の見本は www.petzl.com/ppe を参照ください。

廃棄基準

以下のいずれかに該当する製品は以後使用しないでください:
- 使用前、使用中の点検、または定期点検において使用不可と判断された
- 大きな墜落を止めた場合や、非常に大きな荷重がかかった
- 完全な使用履歴が分からない
- プラスチック製品または繊維製品で、製造日から 10 年以上経過した
- 製品の状態に疑問がある

使用しなくなった製品は、以後使用されることを避けるため廃棄してください。

新しい技術および器具の発達

製品が、システムの中での使用に適さないと判断され、実際の耐用期間が過ぎる前に廃棄される場合の理由は様々です。 例: 関連する基準、規格、法律の変更、新しい技術の発達、他の器具との併用に適しない等

改造と修理

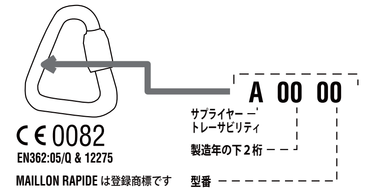
ペツルによって認められた場合を除き、製品の改造および修理を禁じます。
製品の機能を損ねる危険性があります。

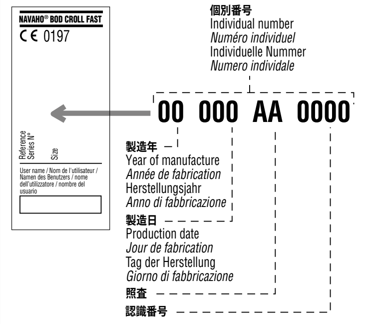
持ち運びと保管

紫外線、湿気、化学薬品等から保護するため、ハーネスは付属の袋もしくはその他の箱等に収納して保管してください。

保証

この製品には、原材料及び製造過程における欠陥に対し3年の保証期間が設けられています。 ただし以下の場合は保証の対象外とします: 通常の使用による磨耗や傷、酸化、改造や改変、不適切な保管方法、メンテナンスの不足、事故または過失による損傷、不適切または誤った使用方法による故障。
ペツル及びペツル総輸入販売元である株式会社アルテリアは、製品の使用から生じた直接的、間接的、偶発的結果またはその他のいかなる損害に対し、一切の責任を負いかねます。



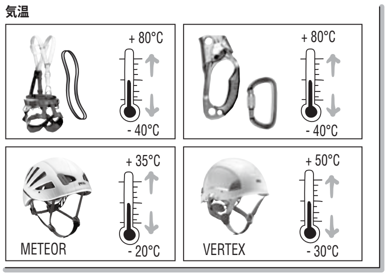


CE 0197

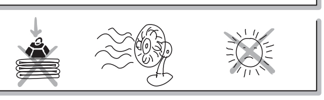
この個人保護用具の製造を監査する公認機関の ID 番号
Body controlling the manufacturing of this PPE
Organisme contrôlant la fabrication de cet EPI
Organisation, die die Herstellung dieser PSA kontrolliert
Organismo che controlla la fabbricazione di questo DPI
TÜV Rheinland Product Safety GmbH Am Grauen Stein D-51105 KÖLN N°0197

CE 適合評価試験公認機関
Notified body intervening for the CE type examination
Organisme notifié intervenant pour l'examen CE de type
Zertifizierungsorganisation für die CE-Typenüberprüfung
Ente riconosciuto che interviene per l'esame CE del tipo
Organismo notificado que
APAVE SUD Europe BP 193, 13322 Marseille Cedex 16 N°0082

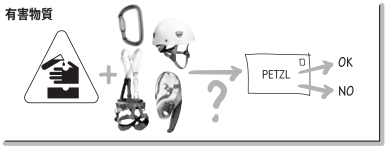
気温



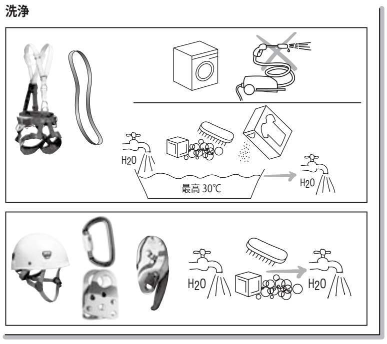
保管方法



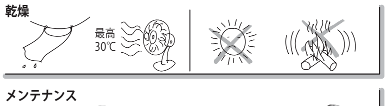
有害物質



洗浄



乾燥



メンテナンス

ペツル 製品チェックフォーム:

製品名:

ロットナンバー:	
製造年:	
購入日:	
初回使用日:	
ユーザー名:	

欠陥など注意事項 / メモ:

日付	OK	点検内容